情報提供資料

2020年10月27日
三井住友DSアセットマネジメント
シニアストラテジスト　市川　雅浩

市川レポート

# 予想EPSの回復度合いを確認する

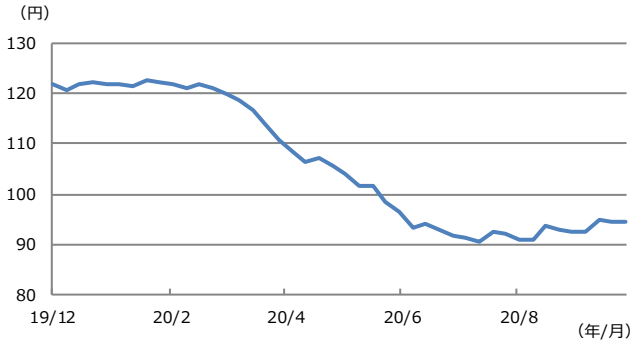
- TOPIXの予想EPSは夏場には下げ止まり、足元で底入れしつつあるものの、回復に力強さはない。
- 業種別の予想EPSをみると、33業種のうち医薬品などの4業種は、昨年末の水準を上回っている。
- ただ多くの業種で予想EPSの回復ペースは緩慢、この先は中間決算での企業の業績予想に注目。

## TOPIXの予想EPSは夏場には下げ止まり、足元で底入れしつつあるものの、回復に力強さはない

予想EPS（Earnings Per Share）とは、1株当たりの予想利益のことです。一般に、最終利益の予想値を発行済み株数で割って求めることができます。例えば、ある企業の業績が改善した場合や、もともと好調だった業績がさらに上向いた場合、その企業の最終利益は増加する公算が大きくなります。市場でそのような見方が増えれば、予想EPSは上昇し、株高につながりやすくなります。

東証株価指数（TOPIX）の予想EPSは図表1の通りです。年初からしばらくは底堅い動きが続いていましたが、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことを受け、春先以降は大きく低下しています。ただ、夏場には下げ止まり、その後は足元まで緩やかに持ち直しており、底入れしつつあるように見受けられます。それでもまだ、回復に力強さはありません。

【図表1：TOPIXの予想EPS】




(注)　データは2019年12月25日から2020年10月21日。予想EPSは12カ月先予想EPSでアナリストのコンセンサス。
(出所)　Datastreamのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：東証33業種の予想EPSの回復度合い】

| 業種 | 回復度 | 業種 | 回復度 | 業種 | 回復度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 医薬品 | 129.0 | 水産・農林業 | 84.8 | 卸売業 | 69.3 |
| 情報・通信業 | 117.3 | 銀行業 | 84.1 | 機械 | 68.4 |
| 証券・商品先物取引業 | 114.9 | 小売業 | 83.5 | 石油・石炭製品 | 66.6 |
| 倉庫・運輸関連業 | 112.9 | パルプ・紙 | 83.1 | 非鉄金属 | 66.4 |
| その他製品 | 96.3 | 金属製品 | 81.0 | ガラス・土石製品 | 65.1 |
| 電気・ガス業 | 94.6 | その他金融業 | 80.7 | 繊維製品 | 57.3 |
| 保険業 | 92.9 | 精密機器 | 76.5 | 輸送用機器 | 54.8 |
| 食料品 | 88.1 | 化学 | 76.0 | 鉱業 | 39.2 |
| 不動産業 | 87.1 | サービス業 | 75.4 | 陸運業 | 21.9 |
| 建設業 | 86.0 | ゴム製品 | 71.0 | 鉄鋼 | 11.5 |
| 電気機器 | 85.9 | 海運業 | 70.2 | 空運業 | −102.1 |

(注)　データは2019年12月25日から2020年10月21日。予想EPSは12カ月先予想EPSでアナリストのコンセンサス。回復度は2019年12月25日の予想EPSを100として指数化した値。TOPIXの回復度は77.7。
(出所)　Datastreamのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



三井住友DSアセットマネジメント

## 業種別の予想EPSをみると、33業種のうち医薬品などの4業種は、昨年末の水準を上回っている

そこで次に、業種別の予想EPSの動きを確認します。具対的には、東証業種別株価指数（33業種区分）の予想EPSを用いて、33業種それぞれの予想EPSの推移を検証します。なお、予想EPSは、33業種の間で比較しやすくするため、昨年末を100として指数化します。33業種のうち、直近の10月21日時点で100を超えているのは、「医薬品」、「情報・通信業」、「証券・商品先物取引業」、「倉庫・運輸関連業」の4業種でした（図表2）。

残りの29業種の予想EPSは、依然として100を下回っており、昨年末の水準を回復していないことになります。ただ、いずれの業種も予想EPSは下げ止まっており、緩やかではあるものの、持ち直しの兆しがみられます。なお、9月に入ってようやく下げ止まったのは、「鉱業」、「パルプ・紙」、「化学」、「非鉄金属」、「機械」、「精密機器」、「陸運業」、「卸売業」、「小売業」、「サービス業」の10業種です。

## ただ多くの業種で予想EPSの回復ペースは緩慢、この先は中間決算での企業の業績予想に注目

なお、予想EPSが昨年末の水準を下回る29業種のうち、直近の10月21日時点で80に達していないのは、「精密機器」、「化学」、「サービス業」、「ゴム製品」、「海運業」などの16業種で、これらはいずれもTOPIXの予想EPSの回復水準を下回ります。さらに、この16業種のうち、50に達していないのは、「鉱業」、「陸運業」、「鉄鋼」、「空運業」の4業種で、「空運業」は33業種のなかで唯一マイナスとなっています。

このように、予想EPSの推移を業種別にみると、回復の度合いにかなりの差があることが分かります。ただ、多くの業種で持ち直しのペースが緩慢なため、足元でTOPIXや日経平均株価の上値が重いのも、仕方のないことと思われます。今後、予想EPSが一段と回復するためには、企業自身による業績予想の改善が必要であり、今週から本格化する3月期決算企業の中間決算が注目されます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会